



編集後記

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 直子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/16340

編集後記

『人間社会学研究集録』第14号をお届けいたします。今号には2本の研究論文と2本の研究ノートが掲載されました。

今号から、「研究ノート」という原稿種が新設され、さっそく、2本が掲載となりました。研究論文として掲載されるのが望ましい形だとは思いますが、研究ノートという形でも、自分がどういう研究をしているのかについて、知ってもらいきっかけになります。現在の自分が取り組んでいる研究をどういう形で公刊するのがよいのか、指導教員・副指導教員の先生方ともよく相談してください。自分がどういう研究をしているのかを、他の人に知ってもらい、というのは、研究を続けていく上ではだいじなことです。どういう形であれ、『人間社会学研究集録』が、皆さんの研究成果を広く知ってもらい場になることを、編集委員は願っていますので、掲載を目指して努力してほしいと考えています。

研究論文を書く上で、内容が学術的にオリジナルな価値があるということは、もちろん重要なのですが、論文執筆の際の書式、形式にも、十分に注意を払ってほしいです。論文には、ある一定の書式、形式があり、それを満たすことが、自分の論文を多くの人に読んでもらうことにつながります。内容に集中するあまり、そのあたりが若干おろそかになっているのでは、と感じる投稿原稿を見ることがありますので、内容以外のところ、書式、形式も、指導教員・副指導教員の先生方に、十分チェックしてもらってください。特に、英文要旨は、論文全体を読まなくても、自分の論文のエッセンスを読み取ってもらえるところです。ここ数年、自分の論文の論旨を、十分に表現できていない英文要旨が散見されます。英文要旨は決して付け足しではなく、日本語以外の読者に、自分の研究をアピールできるチャンスですので、論文と同じくらいに力を入れてほしい部分です。

ご多忙の折、査読の労を執られた先生方には、あらためてお礼申し上げます。今号に掲載された各論文の執筆者からは、修正稿とともに、査読者に対する感謝の言葉も数多く届いていたことを、ここに付言いたします。

また、今号より、英文のチェックをお引き受けいただいた徳永アン先生と楊眞淑先生には、厚くお礼申し上げます。

(文責 中村直子)